

居宅介護支援事業部会（通所部会合同）会議録

平成21年2月13日（木）13:00～15:00

つつじ苑ふれあいホールにて

記録：各務原市介護保険相談センター

介護支援専門員 杉山 理恵

今月は、恒例となった通所部会との合同部会がおこなわれました。鶴沼中央クリニックの長縄先生にもご参加いただき、現場の意見に耳を傾けていただきました。通所部会17名、居宅部会27名、包括支援センター7名でグループワークなどをおこなったあと、発表などをおこないました。

1. サービス担当者会議について

- ・ デイの送迎の前後に話したりすることが多かったが、今は自宅に集まるのが一番よいのではないかと思う。
- ・ デイサービスは午後2時～3時くらいが都合よい。
- ・ 短期目標切れる3か月に1回集まるのは大変なので、個別に面談や電話での照会でおこなっている。
- ・ 県の指導で、デイ利用中のサービス担当者会議は×と言われた。毎日誰かの担当者会議に出かけている状況で、デイとしてかなりの労力を使っている。そのため必要度によって優先順位を決めさせてもらい、参加している。
- ・ デイ提供時間中の担当者会議ができないため、4時以降開催し、利用者に残っていただき、あとで送迎していく。
- ・ デイ相談員がフリーに動ける日にちを設定している。
- ・ 担当者会議で問題点を抽出して終わってしまうことがあるので、あらかじめ課題について話しておけるとよい。その場では言えなかったり、意見がすぐに出てこなかったりもする。
- ・ ケアマネがやらなくてはいけないサービス担当者会議だが、サービス事業所にもメリットがある。
- ・ デイサービスとしては、事前に言ってもらえれば、できるだけ時間を確保したい。
- ・ 会議の資料を事前に送り、会議の時間短縮をはかっている。

2. 医療との連携について

- ・ デイ利用中の緊急時対応についてはあらかじめ確認しておきたい。血圧が高い人で入浴が心配になることがあるため、医師に許可をもらっておきたい。
- ・ 入浴中、食事中、食後の体調の変化、急変が多い場合、スムーズに主治医の指示をあおぐ必要がないか。救急搬送するまでもない場合の判断に困る。
- ・ デイ利用開始時に、入浴や食事についての指示を、簡単な書類で医師からいただくようにしている。（書類作成の料金が発生しないようにしている）
- ・ デイとして医師に確認し、「お前が介入する話じゃない」と言われたこともあるが、

連携をとることは必要だと思う。

- ・病院によっては地域連携室のような部署を通さず、直接連絡をとってくれるところもあり。
- ・デイ⇔医師の連携、ケアマネ⇔医師との連携 のそれぞれの兼ね合いが難しいこともあり、こじれることもある。
- ・医師からの話が専門的すぎてわからないことがある。
- ・(医師の立場から) 医師も必要な情報をもらっていないという現状がある。中長期的な経過を医師に情報として逆にほしい。
- ・(病院の立場から) 退院時カンファレンスにケアマネのみでなく、事業所の担当者も来てほしい。

<長縄先生からのご意見>

- ・4月以降のケアマネと医療が連携した場合の加算は、何年も前から望まれていたこと。これまで以上の連携が必要になってくる。
- ・医師にどうやってコンタクトをとるか?という苦労があるようなので、病院、医師の側から「うちの病院は〇時ごろに電話ください」「FAXでください」などの希望を公開することを考えたい。
- ・新規サービス導入の際、サービスを全て決めてから医師に相談されても、意見がいいにくい。「〇〇デイサービス」と決めてしまう前に医師に相談してほしい。
- ・法人内では、ケアマネから主治医に情報提供する書式があり、それを介護保険更新の際の意見書にも反映できる。ケアマネから医師への情報提供も重要で、普段から情報提供していれば、医師に何か頼むときも頼みやすい。

— その他 —

- ・地域包括支援センター飛鳥美谷苑佐藤さんから、ケアマネ事業所訪問の集計結果などの報告をしていただきました。
- ・協議会懇親会のお知らせ
- ・にんじん会議開催のお知らせ
- ・東海中央病院研修会のお知らせ